

令和6年度学校評価結果の考察

～結果の分析並びに今後の課題と対応策～

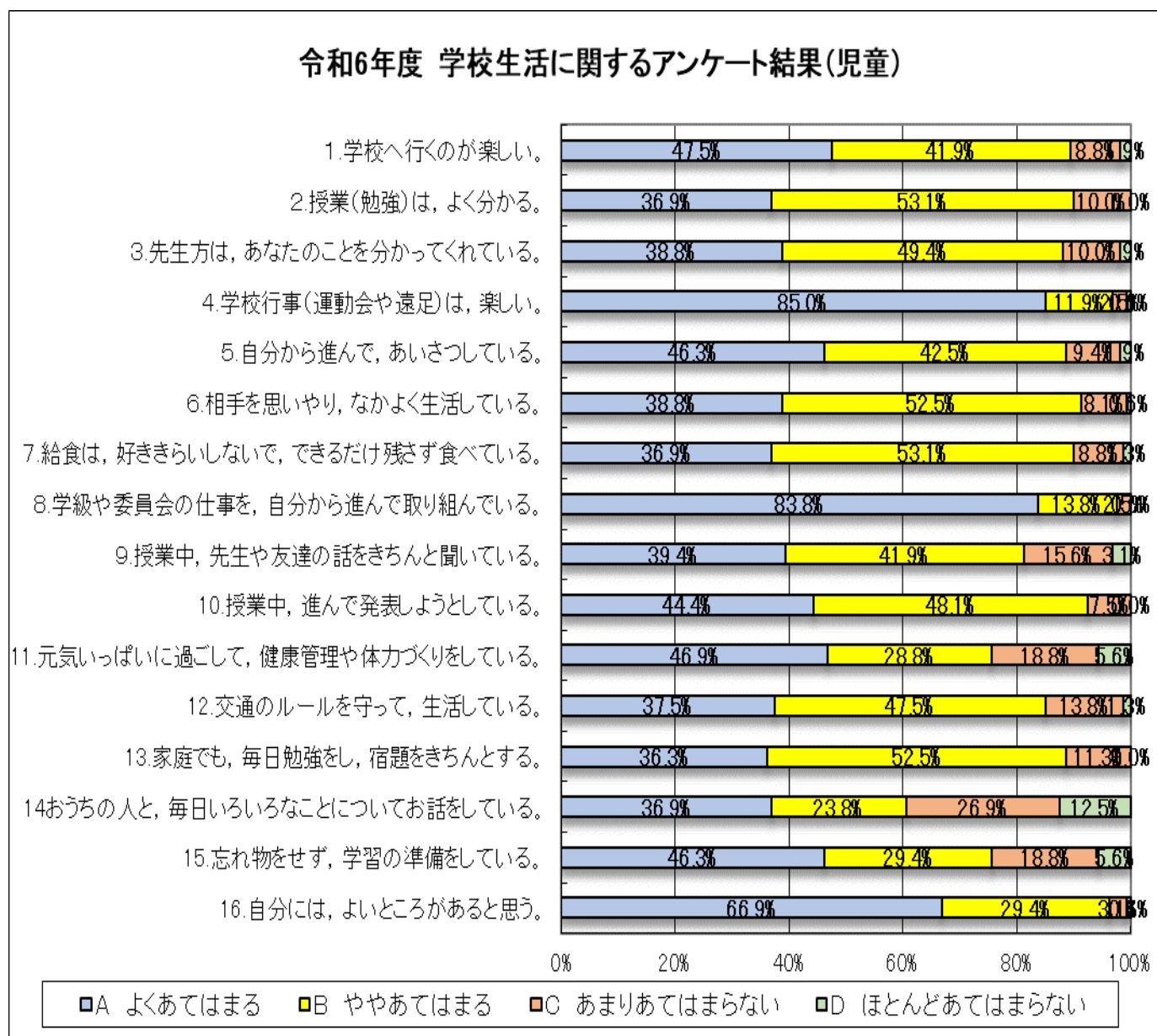
徳島市沖洲小学校

児童用、保護者用アンケートの結果について考察し、本校の課題を分析するとともに、来年度に向けての具体的な方策を考える。

1 児童アンケートから

児童アンケートは4段階（A よくあてはまる B ややあてはまる C あまりあてはまらない D ほとんどあてはまらない）で回答してもらっている。ここでは主に、A、Bの割合の和が80%を越える項目については、ほぼ達成と捉え、C、Dの割合の和が25%を越える項目については課題と捉えていく。

【児童アンケート結果】



(1) ほぼ達成と捉える項目・・・()内は、A、Bの割合(%)の和

観点1	学校へ行くのが楽しい。	(89.4)
観点2	授業(勉強)は、よく分かる。	(90.0)
観点3	先生方は、あなたのことを分かってくれている。	(88.1)
観点4	学校行事(運動会や遠足)は、楽しい。	(96.9)
観点5	自分から進んであいさつをしている。	(88.8)
観点6	相手を思いやり、なかよく生活している。	(91.3)
観点7	給食は、好ききらいしないで、できるだけ残さずたべている。	(90.0)
観点8	学級や委員会の仕事を、自分から進んで取り組んでいる。	(97.5)
観点9	授業中、先生や友達の話をきちんと聞いている。	(81.3)
観点10	授業中、進んで発表しようとしている。	(92.5)
観点12	交通のルールを守って、生活している。	(85.0)
観点13	家庭でも、毎日勉強をし、宿題をきちんとする。	(88.8)
観点16	自分には、よいところがあると思う。	(96.3)

(2) 課題と捉える項目・・・()内は、C、Dの割合(%)の和

観点14	おうちの人と、毎日いろいろなことについてお話をしている。	(39.4)
------	------------------------------	--------

(3) 考察

ほぼ達成と捉える項目は、13項目あった。昨年度よりも5項目(観点3【児童理解】、観点5【あいさつ】、観点7【給食の好き嫌い】、観点10【学習意欲】、観点16【自尊感情】)が増えている。特に、観点10【学習意欲】については、昨年度よりも肯定的な回答が37.4%も増えている。これは、令和8年度の全国社会科学研究大会に向けて、学校全体で話し方や聞き方、学習の進め方についての共通理解を図って取り組んできているからだ考える。

課題としてあげられている項目は、昨年度の4項目から1項目(観点14【家族とのコミュニケーション】)に減少した。これは、昨年度、新型コロナウイルスが5類に移行したことで子ども達の活動の幅が広がり、忙しくなったこと、アンケートが5・6年の児童に限定されているので、思春期にさしかかっている児童がたくさんいたことなどが考えられる。

(4) 課題と対策

【課題①】家族でのコミュニケーションの機会が増えるようにする。

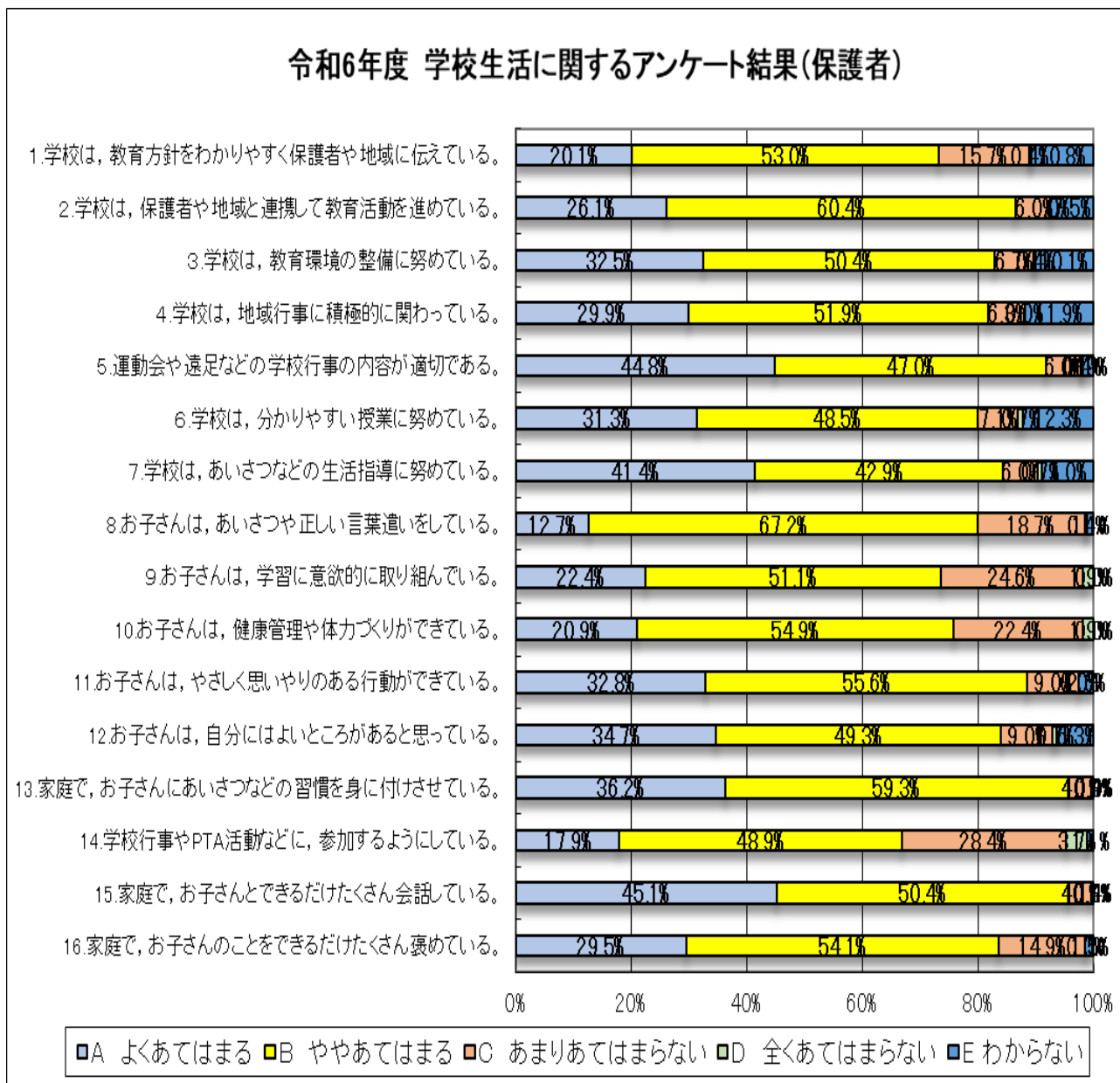
[対策]

- ・ ホームページや学年便りなど通じて、学校での活動の様子を積極的に家庭に発信し、家族の話題づくりに努める。
- ・ 保護者に向けて、思春期にさしかかる子ども達の接し方などを啓発していく。

2 保護者アンケートから

児童アンケートは5段階（A よくあてはまる B ややあてはまる C あまりあてはまらない D 全くあてはまらない E わからない）で回答してもらっている。ここでは主に、A、Bの割合の和が80%を越える項目については、ほぼ達成と捉え、C、Dの割合の和が25%を越える項目については課題と捉えていく。

【保護者アンケート結果】



(1) ほぼ達成と捉える項目・・・()内は、A、Bの割合(%)の和

観点2	学校は、保護者や地域と連携して教育活動を進めている。	(86.6)
観点3	学校は、教育環境の整備に努めている。	(82.8)
観点4	学校は、地域行事に積極的に関わっている。	(81.7)
観点5	運動会や遠足などの学校行事の内容が適切である。	(91.8)
観点7	学校は、あいさつなどの生活指導に努めている。	(84.3)

観点 11	お子さんは、やさしく思いやりのある態度が見られる。	(88.4)
観点 12	お子さんは、自分にはよいところがあると思っている。	(84.0)
観点 13	家庭で、お子さんにあいさつなどの習慣を身につけさせている。	(95.5)
観点 15	家庭で、お子さんとできるだけたくさん会話している。	(95.5)
観点 16	家庭で、お子さんのことをできるだけたくさん褒めている。	(83.6)

(2) 課題と捉える項目・・・()内は、C、Dの割合(%)の和

観点 9	お子さんは、学習に意欲的に取り組んでいる。	(26.5)
観点 14	学校行事や PTA 活動などに、参加するようにしている。	(32.1)

(3) 考察

ほぼ達成と捉える項目は、10項目あった。「本校の教育について(観点1～7)」の内容項目では、昨年度よりも観点2【保護者や地域との連携】、観点4【地域行事との関わり】の2点が増えている。今年度は、地域のゲストティーチャーを招いた授業が増えたこと、夏休みのラジオ体操やコミセン祭りといった地域の行事に参加する児童や保護者が増えたことなどが大きく影響していると考ええる。

課題と捉える項目については、昨年度の5項目から2項目と減っている。その中で観点9【学習意欲】については、児童アンケート結果からは、学校で意欲的に学習していることがうかがえるので、家庭では、その意欲が継続されていないこと、あるいは、何をもって意欲的ととらえるかが、家庭によって違うことなどが考えられる。また、観点14【PTA 活動】の項目は、昨年の38.4%から32.1%と改善されている。これは、昨年度よりも様々な活動が増えたことで、保護者が参加する機会が増えたからだと考ええる。

(4) 課題と対策

【課題①】家庭学習の充実を図る。

[対策]

- ・ 保護者に学校の学習に関心を持ってもらったり、学習内容を知ってもらったりできるように、啓発をする。
- ・ 自主勉強のやり方などを見直したり、お手本となる自主勉ノートを全体に紹介したりすることで、子ども達の学習意欲を高める。

【課題②】学校行事や PTA 活動の充実を図る。

[対策]

- ・ 学級や学年懇談を充実することで、保護者同士のつながりが広がるようする。
- ・ 保護者が興味・関心をもてるような活動を考える。
- ・ 保護者が参加しやすい環境(曜日や時間帯など)づくりに努め、できるだけ多くの保護者が参加できるようにする。

3 全体考察 ～今後に向けて～

学校評価アンケートの結果から、ほとんどの子ども達が意欲的かつ充実した学校生活を過ごしていることがわかる。これは、学習指導や生徒指導など様々な場面で、職員全体で共通理解を図りながら教育活動に取り組んでいるからだを考える。

今後は、懇談会など様々な機会を通じて、保護者や地域に、学校の教育に対する思いや経営方針等を伝え、さらに学校と保護者、地域との信頼関係を築き、三者が協力しながら子ども達を育てていく体制を整えていきたい。